

# 公益社団法人千葉青年会議所

## 2020年度基本方針

2020年度理事長予定者  
安藤潤一

### 基本理念

責任を持ち、己が信念に基づき行動すること

### スローガン

# 覚 悟

～自らを律し、責任ある行動へ～

### 基本方針

1. 魅力あふれる組織の活性化
2. 影響力あるリーダーへの資質向上
3. 未来を担う青少年の健全育成
4. 地域コミュニティの共創
5. 郷土愛の追求と新たなまちづくり
6. 経験が創出する自己変革と組織強化

# 所 信

## ■ はじめに～青年会議所の存在価値～

「新日本の再建は我々青年の責務である」という崇高な使命に共鳴し、1960年、千葉青年会議所が誕生してから本年度で創立61年を迎えます。個人の「修練」・社会への「奉仕」・世界との「友情」を三信条とし、千葉の未来を担うべく「明るい豊かな社会の実現」を目指した運動を60年に渡り展開し、歴史と伝統を築き、脈々と継承し続けてきました。

昨年、創立60周年を迎えた千葉青年会議所は今ここに次なる10年、20年、ひいては100周年に向かう第一歩を踏み出しました。今まで先輩たちが残してくれたように我々も次代へと歴史を育まなければなりません。しかし、それはただ漠然と与えられた事業を継承しているだけでは育つものではありません。「JCしかない」時代から「JCもある」時代と移りゆく中で、我々の「明るい豊かな社会の実現」を目指す運動展開に対しては「やはりJCしかない」「JCしかできない」と言われるべく組織レベルでも個人レベルでも、創造性をもって変革し続けなければ、社会における青年会議所の存在意義ならびに存在価値はないと考えます。我々は変化の本質を見極め、変えるべきものを変えていく勇氣、変えてはいけないものを受け入れていく寛容さ、そして両者を見分ける英知を必要とされているのです。

先輩達が残した多くの方法を参考にし、多くの人と出会い、様々な意見を吸収し、新しい手法を取り入れながら、地域に密着した事業を積極的に行っていかなければなりません。そして、多くの市民が共感し、一緒に活動してくれるとき、私達の活動は更に価値あるものになると考えます。

## ■ 魅力あふれる組織の活性化

明るい豊かな社会の実現に向けて我々が邁進していくためには、一人でも多くの同士の力が必要であります。その為にはまず、自らが主体的に青年会議所運動に取り組み、経験を積み上げ、成長する努力をした中で「自信」に昇華させる必要があります。自信を持っている人、一生懸命に行動している人の姿には魅力を感じるものです。メンバー一人ひとりが当事者意識とJAYCEEとしてのプライドを持ち、まだ見ぬメンバーにも青年会議所運動の素晴らしさ、自身を成長させる貴重な経験が得られる事をしっかりと伝え、会員の拡大に繋げていき、魅力ある組織の活性化を図ります。

## ■ 影響力あるリーダーへの資質向上

青年会議所は地域のリーダーを育てる学び舎です。メンバーが自身の資質を向上させ、地域のリーダーとして社会にその能力を還元していく事こそ青年会議所設立来の使命であり、より良い地域を作る原動力になると確信します。我々は、青年経済人としてJC運動を通して、企業の社会的責任と経営者の社会的使命を研究し、自らの資質を向上させ、「個を磨き」、明日の地域経済を活性化させ社会を真に豊かなものにするために、未来を担うトップリーダーたらんと研鑽を積んでいく必要があります。地域のリーダーとして誇りを持って行政、市民を巻き込んだ運動を展開しなければなりません。

## ■ 未来を担う青少年の健全育成

未来を創り次代を担う子供達は地域の宝であり、我々大人世代は子供達を導いていく責務があります。子供達には学校教育や教科書教育などのいわゆる知育教育、頭の教育も必要であります。同時に道徳やマナー教育など徳育教育、心の教育も重要であると考えます。

昔と比べ、今の子供達を取り巻く環境には少子化、核家族化の進行、都市化や情報化の進展により、子ども同士が集団で遊びやスポーツに熱中し、時には葛藤しながら互いに影響し合い、切磋琢磨し挑戦していく機会、共に目標を達成し、困難を乗り越えたときの喜び、充実感を得る、様々な体験の機会が失われ、さらにはテレビゲームやインターネット等の室内の遊びが増えるなど、それによる人間関係の希薄化、対面的コミュニケーション不足からなる他人への無関心、思いやりや感謝の気持ちを持つ心が欠落するといった傾向が強いと感じます。

千葉青年会議所ではまず、大人世代に対してどのように子供達を導くべきかを学ぶ機会を提供し、子供達に対しては徳育教育もさることながら、子供達が成長し自立する上での、実現や成功などのプラス体験、葛藤や挫折などのマイナス体験も含めた「心の原風景」となる多様な体験を経験でき、さらには自分で考え、行動する機会を与えられる事業を展開してまいります。

## ■ 地域コミュニティの共創

明るい豊かな社会の実現に向け、日々運動を展開している我々ですが、まちづくり活動は多くの団体でも行われております。

まちを良くするためには、我々だけではなく、地域諸団体も含め、行政、自治体、民間企業、市民が今まで以上に手を取り合い連携していく必要があります。相互交流、相互扶助等、地域の連帯を生み出し、地域における共同意識の向上を図ることによって市民一人ひとりが積極的に地域活性化に関わっていく必要があります。そのためにはJCメンバーが人と人の架け橋になり、地域活動を活性化させるしくみや地域市民と共に学ぶ機会を創り実践していくことが必要です。また、地域団体やそこに暮らす人達の声に耳を傾きかけ、地域そのものの魅力を見直す機会を増やす事が重要だと考えます。我々だけでなく、行政や地域諸団体、多くの地域市民と共に愛着を感じる地域コミュニケーションを取っていく事により今後の地域の発展へつながると確信しています。

## ■ 郷土愛の追求と新たなるまちづくり

近年、まちに住む人口が減少していく中、まちには様々な影響を及ぼすと考えられます。人口減少に歯止めをかけるにはまず、自分達の住むまちの魅力を知り、愛着を持つことが重要だと考えます。市民一人ひとりが住むまちの魅力を知り、愛着を持つことができればおのずと自らの住むまちを愛し、誇れ、地域に定着し、さらには地域外の人を惹きつけることができます。

このような課題を地域の人たちが自らの問題として捉え、解決に向けて積極的に取り組むことが今こそ必要なのではないでしょうか。

そのためには各地域諸団体や行政、自治体が単独で動きそれぞれに事業展開するよりも互いに手と手を取り合い、連携する事による一体感を持って、まちとしての経済波及効果や集客効果を考えていくべきだと考えます。さらには、まちとしてのブランドイメージを高める事により、各種イベントや企業が集まり、結果として市民が増加しまちが発展していくと確信します。

## ■ 経験が創出する自己変革と組織強化

青年会議所の運動発信は自分達の住むまちだけではなく、世界中で発信しており、国際青年会議所、日本青年会議所、関東地区協議会、千葉ブロック協議会があり、志を同じうする多くの同士の運動を展開しております。「人は人によってのみ磨かれる」とよく言われますが今こそ、この幅広い学びの機会を十二分に活用し、「個を磨き」ひいてはその経験と知識を地域に還元していただきたいと思います。それが千葉青年会議所の魅力ある組織の創造にも繋がり、地域にとって有意義かつ実効性のある運動を展開できる組織へと進化すると確信します。

## ■ むすびに

20歳から40歳までの限りある時間においてこの「学び舎」と言われる青年会議所でたくさんのことを学んでほしいです。残された年数は人により異なりますが1年1年を本気で取り組んでいただきたい、その価値が青年会議所にはあるから。

スローガンに掲げている覚悟とは強要や強制から生まれるものではなく、自分の選択しているものを自覚できる目覚めた意識を決することであり、ゆえにそこからは責任が生まれ、責任が生まれれば意識が変わり行動が変わる。覚悟をもって行動している人は輝きを放ち、困っている時には手を差し伸べたくなるそんな魅力ある人間だと確信しています。

共に限りある時間の中で精一杯、悩み、考え、行動していきましょう。時にはお互いぶつかることもあるでしょう、しかしそれは覚悟をもって、責任のある行動をしていることの証であり、必ずや自身の財産になることでしょう。

失敗してもいい、覚悟をもって一生懸命に行ったならその失敗は次に繋がる大いなる一歩であり、全てが自身における輝かしい歴史の1ページに刻まれると信じています。